

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課

教育委員会事務局 生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館(今市・日光・藤原)		
	所在地	日光市中央町29番地1 日光市御幸町4番地1 日光市鬼怒川温泉大原1404番地1		
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体		
	代表者名	株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間		令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日		5 年間
選定方法		公募	評価実施年	5 年間のうち 2 年目
施設設置目的		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。		
主な実施事業		・窓口業務(資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借) ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等(資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル) ・自主事業の開催(展示、各講座等の企画及び実施、事後報告) ・市内小学校への移動図書館の定期的実施		

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	資料貸出数	点	338,200	316,197	341,400	307,999						
b	市民一人あたり貸出数	点	4	4	4	4						
c	事業開催件数	回	88	92	89	97						
d	管理運営全般の満足度	%	85	85	89	88						
e	接遇の満足度	%	85	97	89	98						

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計	A	156,364,313	156,115,369	0	0	0
	指定管理料	156,364,313	156,082,209			
	利用料収入 C	0				
	自主事業収入	0				
	その他	0	33,160			
支出計		153,037,858	154,909,437	0	0	0
指定事業費		152,047,005	153,899,468			
	内人件費 D	91,242,093	90,544,238			
	内外部委託費 E	4,463,460	4,427,460			
	自主事業費	990,853	1,009,969			
事業収支 A-B		3,326,455	1,205,932	0	0	0
人件費率 D/B		59.62%	58.45%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		2.92%	2.86%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	今市図書館での防災アンテナ設置にかかる電気使用量の収入及び文化会館チケット委託販売手数料収入があった。

サービス改善の状況

・本年度は地元の写真家北山建穂氏の展示会を、全館で3ヶ月の長期に渡って開催する事ができた。(11月今市・12月藤原・1月日光) 身近な日光の風景作品に多くの方が触れ、郷土に親しみを頂く機会を提供できた。また今市館では作者を招いての講演会も行った。
・他にも市内で活躍している方と連携した自主企画として、日光館では上映会「昔日の日光」を、藤原館では「家康 日光を選ぶ」と題した歴史講座開催した。
・個別のサービスとしては、今市館では「心身障がい者ゆうメール」を申請し、より経費をかけずに利用者へ本を届ける事ができる制度を導入した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
② サービスの 質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
③ 安定性	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
	利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	総括	利用実績は、目標水準である。	B	B
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		・新型コロナウイルス対策として利用を見合わせていたサービス(CD/DVD視聴)の再開や閲覧・学習席の間引きやイベントの定員規制も取り止め、より図書館に滞在頂ける体制に戻す事ができた。一方来館利用だけでなく館外で利用可能な電子図書館の利用促進を「広報にっこう」の特集により、市の関係各署と協力して進める事もできた。		
		(所管課評価)		
		新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、今まで中止していた図書館事業やサービスの提供を再開したが、来館者数・貸出冊数ともに増加には至らなかった。しかし、今年度は学習支援セットの貸出や電子図書館における雑誌購読のコンテンツの導入など、積極的に取り組んでいただいていることから、来館者・貸出冊数の減少には他の要因もあることを想定し、多角的な視点からさらなる図書館サービスの向上に取り組んでいただきたい。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。